

みなさんの声と運動が 藤沢市政を動かしました

藤沢市議会 2月定例会が終わりました。
2018年度予算の審議状況などについてお
知らせします。

日本共産党市議団は市民のみなさんの
運動と結んで議会活動をすすめています。
この議会ではみなさんの切実な要望が
いくつか実現しました。
その一部を紹介します。

中学校の就学援助制度 入学準備金を前倒し 支給決定 (来年4月実施)

藤沢市では就学援
助制度を利用してい
る家庭は18%にな
ります。今まで、小
中学校に入学する
ときの準備金の支給は
9月頃になっていま
した。「入学前に支

給して欲しい」の
声
が実現し、中学生に
ついては来年の入学
前に支給されること
になりました。



市民アンケートに ご協力ください

日本共産党 藤沢市議団 市議会報告

(連絡先) 藤沢市役所本庁舎9階
Tel:(25)1111(内)5649 Fax:(28)3660 2018年 春季号
(E-mail) f-kyosan@cityfujisawa.ne.jp No.264
(ホームページ) http://www.ne.jp/asahi/jcp/fujisawa/

この市議会報告は「政務活動費」で作成しています。

子どもの医療費無料化 中学卒業まで拡大 (所得制限ありは問題です)

現在、小学校卒業まで
の子どもの医療費無料化
が、2019年4月から、
中学校卒業までに拡大さ
れることになりました。

しかし、所得制限をつ
ける方向で準備が進めら

れています。子どもの医
療費は本来、誰でもが無
料にす
べきで
す。



介護保険料 (18年度 ~20年度) 4700円で据え置き決定

介護保険第7期計
画がスタートしまし
た。全国的に保険料
が大きく引き上げら
れているなか、藤
沢市は保険料を基
準額で(第5段階)
4700円に据え置

くことを決めました。
引き続き保険料は低
額に抑えながら、介
護サービス充実が求
めら
れます。



ご意見・ご要望をお気軽にお寄せください



藤沢市議会議員 柳沢潤次 藤沢市議会議員 土屋俊則 藤沢市議会議員 山内幹郎 藤沢市議会議員 味村耕太郎

国民健康保険は18年度か
ら、神奈川県が保険者に加わ
る、国保の都道府県単位化が
スタートしました。

藤沢市は
国民保
険を17年度
に一人平均
4426円
引き下げま
した。市民運動の成果です。
18年度「保険料が上がるの
ではないか」との市民のみな
さんの声を受け党議員団は、
更なる引き下げを要求してき
ました。



18年度からの保険料
は前年並に抑える!

加入者一人1万円の
引き下げは可能!

新制度のもとで、応能(所
得割)・応益割(平等割均等割)
の比率を5対5から5.6対4.4に
変えたこと等により、低所得
者層の保険料が安くなります
全加入世帯の約60%の保険料
が引き下げられます。

しかし、市は県の要請に従
い、一般会計繰入金を7億円
余り削減しています。一般会
計繰入金を前年並みに戻すこ
とや、応能応益割を6対4の
比率にすれば低所得者層を中
心に一人1万円の保険料引き
下げは可能です。

虐待増加などの原因を家庭教育だけに押しつける 「家庭教育支援法」の制定はやめるべきです

「家庭教育支援法」の制定を求め
る意見書が賛成18人、反対16人(下
表参照)で採択されてしまいました。
この意見書は、子ども文教常任委員
会に提出された「陳情」が趣旨了承
になったことにより提案されたもの
です。共産党議員団は反対しました。

この陳情は、「過保護・過干渉・放任
など家庭教育の低下」や「虐待の増加」
を指摘し、解決を急ぐために、国が「家
庭教育支援法」を制定する必要を訴えて
います。

しかし、指摘している虐待等の社会問
題化した事象は家庭にその原因を押しつ
けるべきものではありません。

また、陳情書は「家庭は社会の基本単
位であり」としていますが、大きな問題
です。憲法24条は家族に関する事項につ
いて「法律は個人の尊厳と両性の本質的
平等に立脚して制定されなければならない」とし、明確に個人の尊厳に立脚す
ることを求めています。

陳情書で言う
家庭・家族観は戦
前の家制度の考え
方に逆戻りさせる
ものです。



2月議会での議案や陳情に対する各会派の態度と採決結果

議案・陳情・意見書の要旨	共	市	民	湘	公	無	自	緑	採決会議	結 果
平成30年度一般会計予算	×	○	○	○	○	○	○	×	本会議	可決
平成30年度特別会計予算：北部二の三・柄沢・下水・国保・介護・後期	×	○	○	○	○	○	○	○	本会議	可決
// 病院・墓園・湘南台駐車場	○	○	○	○	○	○	○	○	本会議	可決
家庭教育支援法の制定を求める意見書について	×	○ 8人 ×2人	×	○	○	×	○	×	本会議	可決
庁舎内における職員の方への政党機関紙の勧誘・配達・集金についての陳情	×	○ 1人 ×1人	×	○	○	○	○	○	総務	了承
はばたき児童クラブ平成30年入所定員超過解消に向けた緊急処置の陳情	○	○	×	×	×	○	×	○	子ども	了承

共：日本共産党(4人) 市：市民クラブ藤沢(8人) 民：民主クラブ(7人) 湘：ふじさわ湘風会(6人) 公：藤沢市公明党(5+議長)
無：無所属クラブ(2人) 市派：市民派クラブ(1人) 自：自民党藤沢(1人) 欠員1人
建設：建設経済常任委員会 子ども：子ども文教常任委員会 厚生：厚生環境常任委員会 総務：総務常任委員会

○：賛成 ×：反対
—：当該委員なし

藤沢市
2018年度
予算

ゆたかな財源の使い方が問われます 福祉・子育て支援・くらし最優先に！

市民アンケートに
ご協力ください

大型開発事業の中止・縮小・節減や保有土地の売却、事業の見直し等でムダを省き財源を生み出します

- 村岡新駅建設と拠点整備事業…総額300億円～400億円…中止に
- いすゞ周辺(北部2-3地区)土地区画整理事業…今後15年間で400億円…縮小を
- 相鉄いずみ野線を慶応大学まで延伸…436億円(単線・地下化)
慶応大学周辺を市街化区域に編入し宅地化に…中止…全体数百億円…中止に
開発に伴う遊水地建設など水害対策…46億円
- 新産業の森(葛原地域中心に110畝を工業団地に)…期間と総額未定…中止に
- 遠藤葛原線…中止(慶応大学周辺と新産業の森を結ぶ道路)…60億円…中止に
- 藤沢駅周辺再整備事業…総額380億円…節減を
- 財政調整基金…74億円 ○開発経営公社から毎年20億円一般会計へ繰入

税金の使い方を
切り替えれば



市民の多くの
願いは実現できます

- 待機児童解消に見合う認可保育園の建設
…1園 3億円×15園=45億円
- 子どもの医療費無料化を中学校卒業まで拡大(所得制限なし)
…年間3億円×5年=15億円
- 住宅と商店リフォーム助成制度創設(支給額10万円)
…募集人数年間1000件×10万円×5年=5億円
- 国民健康保険料の一人1万円引き下げ
…9万人×1万円×5年間=50億円
- 高齢者バス等助成制度創設
…70歳以上 約7万人×1万円×5年間=35億円
- 特別養護老人ホーム建設(待機者920人)
…1ホーム3.5億円×10ホーム=35億円(建設費補助金)
- 中学校給食 単独自校方式で実施
…1校4億円×19校=76億円

5年間で実施想定計画 <合計> 261億円

藤沢市は大型開発事業が目白押しです。左表にあるように将来的に莫大な財源が必要になります。18年度予算は、これらの大型開発事業を見直すことなく、温存した予算になっています。大型開発事業は莫

大な財源を必要とするだけではなく、残された貴重な自然を壊し、緑と農地を削減し、その結果、水を誘発することにもなります。税金の使い方を福祉・くらしの分野を優先に組み替えるべきです。



大型開発事業は抜本的に見直し、福祉・くらしの分野を優先に！

2018年度予算は、「総合指針2020」の重点事業に優先的に予算配分したため、市民のくらしや教育に関わる分野は予算が削減されました。●住宅リフォーム助成制度廃止…1200万円減

- 生活道路の舗装や打ち換え・安全対策費…1億8200万円減
- 小中学校の消耗品費や光熱水費等管理費…1億1200万円減
- 図書館資料購入費…700万円減
- がん検診費…1100万円減



住宅リフォーム助成制度の廃止、生活道路舗装費などを削減！

認可保育園に申し込んでも入れない待機児童が767人(4月1日現在)にもなります。特別養護老人ホームの待機者も920人(17年10月・要介護1以上)と深刻です。しかし、施設の建設計画はありませんが、待機児童・者を解消する計画になっていません。施設建設と保育士・介護職員の待遇改善を急ぐことが求められます。



保育園の待機児童・特養の待機者解消計画をつくり実施を！

藤沢市の財政は大変ゆたかです。その財源を市民が望む福祉や医療・介護、子育て支援などくらしに優先的に使うのが、それとも、将来、莫大な財源を注ぎ込む大型開発事業や不要不急の事業を優先するのかがいま問われています。2018年度予算は福祉・くらしは後回しになっています。

歳入自主財源の内訳

市税	①個人市民税	314億3260万円
	②法人市民税	43億9600万円
	③固定資産税	318億7430万円
	④都市計画税他	115億0080万円
その他	⑤使用料・手数料など	142億9847万円
自主財源計		935億0217万円(67.5%)
依存財源計		450億5083万円(32.5%)

藤沢市 2018 年度予算

一般会計	: 1385 億 5300 万円
特別会計	: 1189 億 3916 万円
合計	: 2574 億 9216 万円

藤沢市の財政は豊かです

全国791市中 (2016年決算)

自主財源比率	31位	(県内16市中2位)
財政力指数	28位	(県内16市中2位)
公債費比率 (借金元利返済)	66位	(県内16市中5位)